

let's go around

ちょっと出かけませんか?

市民講座

COMING SOON! みんなで支える認知症

だれにでも居場所のある地域づくりを



宮崎 雅医師

日進市「認知症応援ガイド(ケアパス*)」を活用しながら、当院の在宅診療担当宮崎医師の話を中心に、認知症ケア向上委員会によるユマニチュード(主に認知症の方を対象とした仏発のケア技法)のワークショップを行います。

ご自身のため、ご家族のため、ご近所のため、認知症の理解を深めてみませんか。

11/17金 【時間】14:00~15:30 【場所】ホスピス研修室 【定員】30名(先着順) 【参加費】無料
※定員に達した場合は締切とさせていただきます

お申込先 ☎0561-73-7721(病院代表) ✉ f.moroishi@aisen-kai.jp(担当:藤石)

【受付期間】
~11/10金



※認知症の症状に合わせて利用できる制度やサービスなどを中心に、認知症に関するさまざまな情報を紹介する認知症応援ガイド。



イベント

愛知牧場 | 愛知牧場ひつじフェスタ2023秋

ひつじに関わる方や地元の方が愛知牧場に一同に集まるマルシェを開催。当日は羊毛雑貨はもちろんひつじ肉を使った料理も楽しめます。

【日時】11月3日(金・祝)、4日(土)、5日(日) 10:00~16:00



お問い合わせ ☎0561-72-1300 X (旧Twitter)

演奏会 | 0歳からの音があふれるコンサート vol.3

当院ホスピス音楽療法士の近藤幹夫さんが出演。小さなお子さまでも楽しめるように、トルコ行進曲などアップテンポな音楽を1時間にぎゅっと詰め込んでお届けします!

【出演者】みとみ音楽館
マリンバ(近藤幹夫)、ソプラノ(磯村美有紀)、ピアノ(野村知子)

【日時】11月23日(木・祝) ※演奏時間約60分
①10:00開場(10:30開演)
②13:00開場(13:30開演)

【場所】長久手市文化の家 森のホール ※おむつ替え&授乳スペースあります 【お問い合わせ/みとみ音楽館】
【金額】大人1,500円、園児~中学生500円 ☎090-2576-6493



グルメ

パスタ&グリル il Luogo(イル・ルオーゴ)



季節でメニューも替わるので一期一会の味に出合えます。

名古屋市内の有名ホテルで修業したシェフが「みんなが集う場を」という想いで今年7月イル・ルオーゴ(イタリア語で居場所)をオープン。ランチパスタは定番パロネーゼやレモンクリームなどバラエティ豊か。地産地消の食材にこだわり、夜は予算に合わせたコースも、20名程度の貸し切りOK!

【住所】日進市岩藤町下原194-1 サンプレス日進1F

【TEL】0561-76-7941

【営業時間】11:00~14:00/17:00~(水曜定休、不定休あり)



Sourdough bread SUI (サワードウブレッド スイ)



約20×15cm 800円 発酵バターやワインなど発酵食品との相性もバツグン!

サワードウとは小麦粉から酵母を起すパンの伝統製法で、やさしい酸味風味が特徴です。自宅工房で国産小麦粉、塩と水のみから作るカンパニーは、毎週金曜日に予約販売を行っています。市内のマルシェなどに出品すると毎回1~2時間で完売するほど人気です!香りゆたかなカンパニー、ぜひご予約してみてください。

【住所】日進市米野木台5-802

【お問い合わせ】LINE、Instagram、Mail:a_neko_oru@icloud.com



賛助会員募集のお知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757

【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上をお願いいたします)

【医療法人財団 愛泉会】

- 愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター ■訪問看護ステーション えまい ■住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】アジア保健研修所(AHI)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 http://aisen-kai.jp/

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま110号」 発行日:2023年10月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。

お問い合わせ 【受付時間】月~土曜 8:30~17:30

医療 地域連携室 ☎0561-73-9179 について

介護 日進市東部地域包括支援センター ☎0561-74-1300 について



愛知国際病院 | 老人保健施設 愛泉館

みなみやま

2023年秋 vol.110

特集

地域+高齢者 ~未来はここから~

1~4 生活支援の新しいカタチ

5 在宅なんでも相談

●もし、夫が認知症だったら? ●デイケア施設ではなく自宅で入浴を

6 インフォメーション

裏表紙 ちょっと出かけませんか?

●市民講座・イベント・グルメ





介護福祉士
細川 春菜

生活支援コーディネーター
浅野 理絵

医師
河村 健雄

生活支援コーディネーター
福田 有輝

生活支援の新しいカタチ

出前講座はこうして始まった

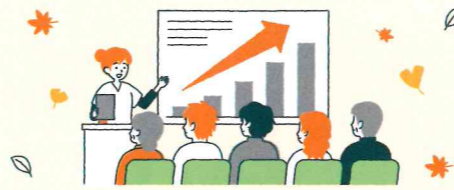
河村 今年5月、私たち愛泉会の医師やスタッフが地域に出向いて活動する「出前講座※1」が本格的にスタートしました。今日はそのきっかけを作ってくださった生活支援コーディネーターのお二人とお会いできてうれしく思います。まず最初に、愛泉会との関わりについてお話しいただけますか。

浅野 私は日進市東部を担当する「第2層生活支援コーディネーター※2」として、区長さんや民生委員さんから

困りごとを聞いたり、いい情報があれば皆さんにお伝えしたりしています。コロナ禍で数年ストップしていた健康教室などのイベントが徐々に再開しているものの、気持ちが下向きになって家に閉じこもったままとか、足腰が弱って外に出たがらないなど、高齢者のサポートが思うようにならない現実がありました。そんなとき愛知国際病院が今年3月、市民講座を再開されました。コロナフレイル※3をテーマに、家でできる運動や管理栄養士による食事アドバイスなど、多く

の人に聞いてほしい内容だったので、愛知国際病院と地域をお引き合わせしてコラボレーションしてみてもどうかと考えたんです。

福田 私は今年4月「第1層生活支援コーディネーター※2」の担当になったばかりですが、所属する社会福祉協議会は、ボランティア活動の受け入れなどを通じて老人保健施設 愛泉館にお世話になっており、以前から関わっていました。愛泉館の皆さんは手厚いケアを大切にしていますし、愛知国際病院も地域に寄り添う活動を早くから



※2 生活支援コーディネーターとは

高齢者の生活支援や介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制づくりのコーディネート役を務める人を生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)といいます。市町村全域を担当する第1層と、日常生活圏を担当する第2層に分かれ、日進市では2名の第1層生活支援コーディネーター、3名の第2層生活支援コーディネーターが活動しています。(出典:厚生労働省)

行っています。日進市は生活支援の活動が盛んといわれますが、愛泉会のように地域を大切にする法人や企業の存在も大きいと感じています。

細川 生活支援コーディネーターのお二人は、広い視野で地域を見ていらっしゃるのですね。私を含めて愛泉館の介護スタッフは、目の前の利用者さんに一生懸命で、地域とのつながりを忘れてしまいがちです。ただ、愛泉館にはデイケア、ショートステイ、入所サービスとさまざまな受け皿があって、これも地域の重要な資源の一つ。例えばご家族が介護に疲れたときなどに上手に活用していただくことは、高齢者の皆さんが住み慣れた町で安心して暮らせることにもつながると、改めて感じることができました。

原点は「地域と共に」

福田 出前講座といった地域活動を続けるには、やはりマンパワーも必要です。開催にあたって迷いや難しさはなかったのでしょうか。

河村 愛知国際病院は基本理念の1つに「地域と共にあり、地域に支えられる医療」を掲げています。訪問看護を早くにスタートしたのも地域のニーズに応えたい思いからです。時

代によって地域支援のカタチは変わるでしょうけど、「地域と共に」という原点は同じ。ですから出前講座も、「よし、やろう!」と即決でした。

浅野 愛知国際病院はアクションが早いですよね。「こういうことって、できますか」と投げかけると、すぐにスタッフ間で話し合いをしてアイデアをさっと出してくださるなど、打てば響くという感じで。出前講座も短期間で実行に移すことができました。

河村 3カ月で参加者は延べ200人を超え、私たちもニーズの多さを実感しています。

浅野 内容もとても好評で、多くの方にメッセージを届けられたことをうれしく思います。病院は「病気になってからお世話になる場所」と思われがちですが、「病気の予防もしてくれる場所」と病院へのイメージが広がったり、「病院に知った顔がいる」という安心感につながったりと、出前講座の効果は大きいと思います。じつは愛知国際病院の行動をきっかけに、他の医療機関にも活動の輪が広がりつつあるんですよ。

福田 私たち福祉事業者にとっても、これまで医療機関はどちらかというとな数居が高い存在で、どのようにコ

ンタクトを取ればいいのか分かりませんでした。これからは、コーディネーターの役割も理解していただいて、多くの医療機関や企業が地域貢献に参加する流れができればうれしいですね。もちろん無理のない範囲で。

これからの地域のカタチ

河村 超高齢化社会を迎え、2年後には「5人に1人が認知症」になるといわれます。生活支援コーディネーターのお二人は、地域が取り組むべきことは何だと思われますか。

福田 まず認知症についてみんなが知ることで。症状が進むと、どんな障害が出やすいのか、周囲は何をサポートしたらいいのか。まったく知識がないと、どう関わっていいかも分からない。分からないから関わるのをやめよう。これでは悪循環です。日進市では、地域包括支援センターが認知症サポーター養成講座をしていますし、「Nカフェ」といって認知症の方について理解したり、ご家族が悩みを話せる場を展開したりしています。私たち社会福祉協議会も、認知症の理解を深める活動を積極的に行うことで、「認知症の方や障害がある方も地域で暮らしていける」という

Profile



日進市第1層生活支援コーディネーター
社会福祉士 福田 有輝
2006年に日進市社会福祉協議会へ入職。地域福祉活動支援、共生型デイサービス生活相談員、障害者相談支援などを経験し、2023年度より現職。



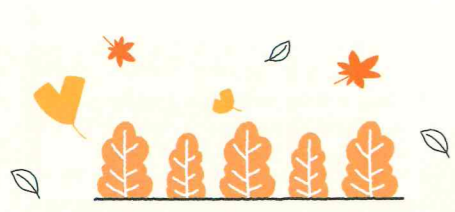
日進市第2層生活支援コーディネーター
浅野 理絵
2006年、理学療法士資格取得、名古屋市総合リハビリテーションセンター付属病院入職。2009年、NPO法人介護サービスさくら入職。2021年、日進市第2層生活支援コーディネーター拝命。



医療法人財団愛泉会 愛知国際病院
副院長 河村 健雄
1998年入職。日本外科学会(専門医)、日本消化器外科学会(認定医 消化器がん外科治療認定医)など。外来診療のほか、訪問診療やフレイル予防講座なども担当。



医療法人財団愛泉会 老人保健施設 愛泉館
介護主任 細川 春菜
愛泉館で受けた介護実習で高齢者ケアに感銘を受け、介護福祉士の道へと進む。2011年入職。現在は、入所介護主任としてユニバーサルの推進に力を注ぐ。モットーは「入所者一人ひとりを1日1回は笑顔にすること」



目線を持った住民を増やすことに力を入れています。

浅野 コーディネーターが関わる活動として、ある地区で年1回「認知症徘徊訓練」を行っています。突然、誰かがいなくなった想定で、地域の皆さんで連絡しながら見つけるという訓練です。困った状況に陥ってから対策を講じて遅いので、医療機関も含めて地域みんなでサポートする体制づくりを進めています。

細川 日進市ではさまざまな取り組みがあるんですね。愛泉館にも認知症の方を対象にした短期集中プログラムがあります。また、認知症の方に良い効果をもたらすユマニチュード※4にも取り組んでいます。以前、認知症の周辺症状がひどく、ご家族にも怒鳴り続ける方が緊急で愛泉館に入所された際、ユマニチュードを実践したところ1カ月足らずで人が変わったように穏やかになったケースがありました。ご家族が同じケアを実践するのは

難しいかもしれませんが、知っているだけで役立つこともあるので、ご自宅で介護されている方に向けて、そういった勉強会の機会も設けていきたいです。

まだまだ、やれることがある

河村 皆さんと話をすることで、医師がどれだけ患者さんと接しても、見えていない部分があると改めて気付かされました。地域の声を聴いて、地域を知ることはとても大事ですね。

福田 私も同じ気持ちです。今日は貴重な話を伺うことができました。これからも生活支援コーディネーターとしてさまざまな現場に出掛け、重要なことはどんどん住民の皆さんに伝えていきます。

浅野 住民主体の地域活動だけではカバーできない課題がたくさんあります。だれもが住み慣れた場所で健康で長く暮らせる地域にするには、医療機関や企業の皆さんの協力がど

うしても必要です。私たちコーディネーターは地域の声をたくさん拾って皆さんに伝えていく橋渡し役ですが、コーディネーターがいなくなっても活動が回っていくことが理想です。そういう地域を目指し、まだまだ始めたばかりですが、これから先も活動を長く続けていくつもりです。

細川 「地域と共に」を理念に掲げる愛泉会が、これからも変わらず存在し続けることも大事なので、「愛泉会なら大丈夫だ」と地域の人に安心して任せていただけるよう、私たち職員も頑張っていきます。

河村 愛泉会は、コロナ禍ではいち早く発熱外来を設け、コロナ病棟も完備するなど、地域に寄り添いながら職員一丸となってやってきました。こうした活動がひと段落した今、「まだまだ、やれることがある」と背中を押された思いです。今日は本当にありがとうございました。これからも力を合わせて何かができればうれしいです。

※1 2023年度上期は5月から7月にかけて11会場223人を対象に開催。「愛泉会 健康講座メニュー」をもとにご依頼者と内容を決めて、看護師や管理栄養士、理学療法士、薬剤師等の専門職が対話型・参加型の講座を提供しました。 ※3 コロナ禍において外出機会が減り地域社会とのつながりが希薄化することで、特に高齢者の運動機能や認知機能が低下して要介護状態へと進行することを「コロナフレイル」といい、そのリスクが高まっていることが課題になっています。 ※4 ユマニチュードとは、「人間らしくある」という意味を持つフランス語の造語で、ケアの技法のひとつです。特に認知症や高齢者のケアで有効とされており、「あなたのことを大切に思っています」という気持ちを言葉や非言語で伝えることが重視されています。



愛泉会の 認知症サポート(一部)

相談・診断

愛知国際病院



ご本人の受診が難しい場合は、ご家族からのご相談にも応じています。

総合診療科(月～土曜 午前・午後)
神経内科専門外来(第3土曜午後)
神経内科医師担当外来(金曜午前)

介護福祉相談

日進市東部地域包括支援センター



福祉専門職が、ご本人やご自宅で介護されているご家族を支える情報を幅広く提供するだけでなく、必要時にはご家庭を訪問し、最適な支援と一緒に考えます。

認知症ケア向上委員会

愛泉会



主に認知症の方に対するケア技法「ユマニチュード」の勉強会などを院内で開催し、職員の理解やケア技術を高めます。

8月24日、日本ユマニチュード学会代表理事 本田 美和子先生のオンライン講義を受講しました

お問い合わせ 愛知国際病院 ☎0561-73-7721 日進市東部地域包括支援センター ☎0561-74-1300

close up

日進市アルツハイマー月間イベントでミニ講座を開催！ ～「困ったな」が少しラクになる魔法のコミュニケーション～



世界アルツハイマー月間にあわせて日進市立図書館でも9月12日(火)から10月1日(日)までイベントが開催されました。14日(木)には当院の認知症ケア向上委員会がユマニチュード技法を取り入れたコミュニケーションについて、ワークショップ形式で講座を開催しました！



日進市の 認知症サポート(一部)

認知症カフェ(N-cafe※)



認知症のご本人やご家族、知人など、誰でも自由に集まって交流を楽しみながら、認知症やその対応についての理解を深めたり専門職への相談をしたりできる場所。市内5カ所(2カ所は休止中)で開催しており、ご予約は不要です。

※日進市が開催する認知症カフェの総称

認知症サポーター養成講座



認知症を正しく理解し、地域を支える人を増やす取り組み。受講を希望する5人以上のグループを対象に無料で開催しています。昨年度は日進市内で20回の講座を行いました。ステップアップ講座なども用意しています。

お問い合わせ 日進市地域福祉課地域支援係 ☎0561-73-1484

認知症初期集中支援チーム

認知症の人やその家族に対して、認知症かどうか診断したり、適切な医療サービスや介護サービスを紹介したりするために、チーム員が自宅に訪問するなどして一定期間(約6カ月以内)集中的に支援します。



close up

町のカフェがN-cafe!
気軽に認知症について話してみませんか
スターバックス コーヒー 日進香久山店は月1回、日進市と協力して広い店内の1画を「N-cafe」として提供しています。認知症カフェの取り組みは、県内の同店舗では初めて開催。店頭の看板や口コミを通じて参加者の輪が広がっています。

日進市「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーター登録済のスタッフも勤務しています。地域の方にとって癒しの場、憩いの場となるような雰囲気大切にしています。

店長の椎野さん



予約・申し込み不要



N-cafe「スターバックス コーヒー 日進香久山店」
【開催日時】毎月第2火曜日(10時～12時)





もし、夫が認知症だったら？



夫はまだ50代ですが、急に物忘れがひどくなり「認知症では？」と不安です。定年はまだ先なので、今のうちから何かできることはありますか。

認知症の専門知識を持った「認知症初期集中支援チーム」をご存知ですか。今後の生活への支障を最小限にするために、家族支援や診断についてなど集中したサポートを受けることができます。



包括

同チームのメンバーである認知症サポート医は、診断だけでなく今後の生活の不安や家族の悩みに対して適切なアドバイスも行っています。外来受診のついでなどにお話しされてはどうですか。



病院

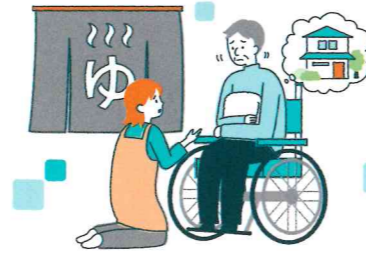


ぜひアドバイスなどいただきたいですが、夫は病院に行くのを嫌がっています。

無理やり連れて行くのは逆効果になることがあります。ご家族からの相談受診に対応している病院もあるので、ベストな方法を一緒に考えていきましょう。



包括



デイケア施設ではなく自宅で入浴を



同居する父の足腰がおぼつかなくなり、最近入浴がとても心配です。デイケアに通っていますが施設の入浴は嫌がり、自宅のお風呂に入りたいようです。

病院には、筋力強化を目的とした通院リハビリや、約2カ月入院して栄養状態をチェックしながら機能回復を促す方法もあります。持病を管理しつつ無理なくリハビリが行えます。



病院



近所のお仲間が家に遊びに来ることが本人の楽しみなので、入院は避けたいのですが。

それなら訪問リハビリがお勧めです。お風呂環境に合わせて、必要な入浴動作を安全にできるリハビリを行ったり、住宅改修についてアドバイスしてくれたりします。デイケアの担当者に相談すれば、入浴を想定したリハビリプログラムも考えてくれます。



愛泉館

介護保険を利用した入浴ヘルパーや福祉用具レンタルなどもあるので、担当のケアマネさんに相談するといいですよ。



ケアマネ

お問い合わせ 日進市東部地域包括支援センター ☎0561-74-1300 (月曜～土曜 8:30～17:30)

在宅を支えるワンポイントアドバイス 必要な栄養をしっかりと摂るには？

食事編

健康に暮らすために不可欠な栄養。バランスを考えられた献立でも、お口が健康でないと栄養をしっかりと摂ることはできません。歯や口の機能が衰えたり食事が偏ったりすると、全身の老化につながるといわれています。(言語聴覚士 和田 真一)

お口から始まる老化

- 噛む力が弱くなると、硬いものが食べられなくなります
- 食事を丸飲みしがちになります
やわらかい食事がかりになると飲み込む力(えんげ機能)が衰えます
- 誤嚥性肺炎のリスクが高まります
窒息のリスクが高まります

老化

予防法

- 1 歯と歯茎をケアする(歯磨き、歯科受診)
※入れ歯は、噛み合わせや痛みなどを歯科で定期的にチェックしましょう
- 2 口や舌を使う(音読、カラオケなど)
- 3 バランスの良い食事を摂る(適度に噛みごたえのある食品)



ホスピス

4年ぶりの本格的なホスピス夏祭り

8月16日(水)ホスピス夏祭りを4年ぶりに本格的に開催しました。ボランティア手作りのやぐらが登場し、ホスピスがお祭り広場に早変わり!炭坑節で幕を開けた夏祭りは、かき氷やヨーヨー釣りなどのお楽しみイベントと音楽療法士によるミニコンサートがコラボした楽しいひとときとなりました。



愛知国際病院

ふるさと納税返礼品に登録しました

日進市のふるさと納税返礼品として、当院の人間ドックと腸内フローラ検査に登録しました。ぜひご利用ください!

詳しくはふるなび、ふるさとチョイスなどのふるさと納税サイトをご覧ください。



ふるなび (人間ドック)



ふるなび (腸内フローラ検査)

愛泉館

AI歩行分析(トルト)を導入しました!

デイケアやおたっしや教室などで、ご利用者さんにもっとわかりやすく「正しい歩き方」をお伝えるために、AI(人工知能)を活用した歩行分析を導入しました!ご利用者さんは1.5メートルを歩くだけ。その様子をアプリで解析して3分後には結果をもとに理学療法士や介護士がアドバイスをを行います。

AI歩行分析の体験会あります!

にしん観光まちづくり協会が主催するまちミル博覧会で体験会を出展しています。どなたでもお申込みいただけますよ!
【日時】11月11日(土)10:00～15:00
【会場】にぎわい交流館(日進市蟹甲町中島277-7)
【料金】お1人さま 200円(所要時間30分)

お問い合わせ ☎0561-74-1711(担当:浅井)

要予約



体験会のお申し込みはこちら

表紙のイラスト

季節のイメージを共有する楽しみ

「みなみやま」の表紙を描くようになってから、四季を意識し、ささいな季節の移ろいにも目を向けるようになりました。じつは1枚の表紙を完成させるために、いくつもラフをつくるのですが、子ども時代の懐かしい記憶をたどってみたい、見たい景色を妄想したりと、それもまた楽しい時間です。想像という絵筆で描いた、私にとっての秋のイメージ。皆さんと共有できたらうれしいです。

名古屋学芸大学 メディア造形学部 2年 反町 友美佳さん



弾き語りをしているシーン(左)は、秋に見たい景色を妄想したもの。ブランコのシーン(右)は、子ども時代を思い出して描いたもの。

編集こぼれ話 今回の特集原稿になんとなく既視感があって、バックナンバーを確認してみると…わたしが初めて広報誌を担当した82号で河村先生の「地域で行う健康講座も大事にしたい」という発言が7年がかりで主役に躍り出た地域活動、これからもたくさんの人に支えられてすくすく育ちますように。(諸石)

あなたと共に、パートナーシップ宣言

わたしたちは、患者さん・ご利用者さんやご家族の診療・介護への参加を推進しています。

